禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B76

「中央職業能力開発協会編」

令和６年度 技能検定
２級 サッシ施工 学科試験問題
（ビル用サッシ施工作業）

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   （1） 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   （2） 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   （3） 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   （4） 試験開始の合図で始めてください。
   （5） 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ． A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ． B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ． 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ． 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   （6） 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   （7） 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   （8） 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   （9） 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　複数の専門工事業者が関連する場合の工程管理には、ネットワーク工程表よりもバーチャート工程表の方が、適している。

2　アルミニウム板に径4mmの小ねじ用のタップ立てを行う場合、下穴の径の基準寸法は、3.1mmでよい。

3　サッシ工事の基準墨としては、陸(ろく)墨、芯墨及び出入り墨が必要である。

4　サッシ工事におけるPC(プレキャストコンクリート)打込み工法は、現場において、サッシやドアをコンクリートを打つ前に型枠に取付け、コンクリートを打込む工法である。

5　日本産業規格(JIS)によれば、ハンドハクソー(金切りのこ・のこ刃)の呼び方において、長さは、ハクソーの全長で表す。

6　シーリング工事において、バックアップ材を装填する目的の一つは、三面接着を避けて二面接着にすることである。

7　シーリング工事において、マスキングテープを使用する目的は、充填深さの調整をするためである。

8　アルミニウム合金製サッシは、通気が良く、湿気がないところに保管するのがよい。

9　材料の搬出入口となるサッシ枠やドア枠は、ビニルシートで養生すれば十分である。

10　日本産業規格(JIS)によれば、クレーンとは、荷を動力を用いて吊り上げ、及びこれを水平に運搬することを目的とする機械装置をいう。

11　左官工事における中塗りは、下塗りが十分に乾燥しない状態で行う。

12　たて軸回転窓とは、障子の垂直方向の軸を中心に回転して開く窓をいう。

13　すべり出し窓とは、障子の下かまちと下枠を丁番で継ぎ、障子の上部が外側に開くようにした窓をいう。

14　日本産業規格(JIS)によれば、二重サッシとは、戸を内外に二重に設けたサッシで、あらかじめ、二重サッシとして設計、製作されたものをいう。

15　日本産業規格(JIS)によれば、サッシにおける必須の性能項目には、耐風圧性が含まれる。

［A群（真偽法）］

16　サッシにおけるスイングとは、主に枠の面外に戸が移動する開閉形式をいう。

17　アルミニウムの融点は、約300℃である。

18　ステンレス鋼材において、SUS304は、普通は磁石につかない。

19　フロアヒンジは、自動閉鎖装置の一つである。

20　閉鎖順位調整器は、両開きとびらの左右のとびらを同時に閉める場合、とびらの先閉まり、後閉まりの順序を規制するものである。

21　トラス構造とは、柱と梁（はり）の節点を剛に接合した構造をいう。

22　ALCパネルは、衝撃に強いので、耐震壁として使用されることが多い。

23　建具配置図とは、平面図に建具の取付け場所を表示した図面をいう。

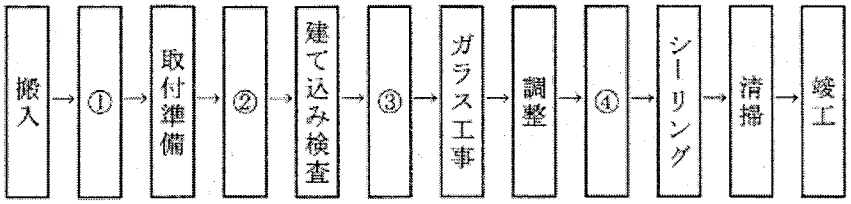
24　建築基準法関係法令によれば、非常用の進入口又は進入口に代わる窓の大きさは、直径1m以上の円が内接することができるもの又はその幅及び高さが、それぞれ、75cm以上及び1.2m以上のもので、格子その他の屋外からの侵入を妨げる構造を有しないものに限ることとされている。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、ゴンドラ操作の業務に就く者は、安全衛生のための特別教育を修了しなければならない。

［B群（多肢択一法）］

1　次は、サッシの施工手順の概略であるが、①～④に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

	①	②	③	④
イ	保管	検査	溶接	建て込み
ロ	検査	溶接	建て込み	保管
ハ	検査	保管	溶接	建て込み
ニ	保管	建て込み	溶接	検査



2　スチール製ドアの取付け順序として、適切なものはどれか。

イ　枠をくさびで仮固定する → 枠のアンカーを溶接する → 枠まわりにモルタルを詰める → 沓摺りにモルタルを詰める

ロ　沓摺りにモルタルを詰める → 枠をくさびで仮固定する → 枠のアンカーを溶接する → 枠まわりにモルタルを詰める

ハ　枠まわりにモルタルを詰める → 沓摺りにモルタルを詰める → 枠をくさびで仮固定する → 枠のアンカーを溶接する

ニ　枠のアンカーを溶接する → 枠をくさびで仮固定する → 枠まわりにモルタルを詰める → 沓摺りにモルタルを詰める

3　サッシ及びドアの付属部品とその保全方法の組合せとして、適切でないものはどれか。

	（付属部品）	（保全方法）
イ	シリンダー錠のシリンダー	注油
ロ	掛金物、締付金物	取替え
ハ	ヒンジ	清掃及び注油
ニ	ねじ	増締め

4　サッシ及びドアの取付け工法の後付け湿式工法に関する記述として、適切なものはどれか。

イ　コンクリート打ちの前に型枠に取り付け、コンクリート打ちとともに建て付ける工法である。

ロ　打込み底盤に移動のないよう型枠に固定し、コンクリートを打ち込んで一体構造とする工法である。

ハ　溶接用下地金物をサッシアンカーと溶接固定した後、建具枠と躯体間にモルタルを詰める工法である。

ニ　建具枠を溶接固定した後、溶接部に防錆塗装を施し、枠と躯体間にモルタル詰めを施さない工法である。

［B群（多肢択一法）］

5　サッシ及び金物の取付け工事とそれに使用する器工具の組合せとして、適切でないものはどれか。

	(工事)	(器工具)
イ	サッシの揚重	シャックル
ロ	サッシの固定	ガス溶接機
ハ	サッシの位置決め	水準器(レベル)
ニ	コンクリート床への戸当りの取付け	ハンマドリル

6　トルシア形高力ボルトの本締めに使用するものとして、適切なものはどれか。

イ　シャーレンチ
ロ　インパクトレンチ
ハ　ジグソー
ニ　ディスクグラインダ

7　ガラス工事におけるグレイジングチャンネルに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　ガラスの切断寸法が小さすぎると、施工後にグレイジングチャンネルが脱落し、大きすぎると、はめ込みが難しい。
ロ　グレイジングチャンネルは、切れ目を下かまちの中央部でつなぐ。
ハ　留め部分(コーナー部)は、耳を残して切込みを入れ、ガラスをはめ込む。
ニ　ガラス施工業者は、施工時に障子の対角寸法を確認する。

8　ISOねじのM4のピッチとして、適切なものはどれか。

イ　0.60mm
ロ　0.70mm
ハ　0.80mm
ニ　0.85mm

9　アルミニウム合金製サッシの保管に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　落下物等による損傷を防ぐため、天井のある壁面に立て掛けた。
ロ　資材の搬入場所近くでの保管は行わないようにした。
ハ　保管中に製品が転倒しないよう、ロープで結束した。
ニ　サッシに枕木を用いて平積み保管した。

10　作業足場とそれに関係する部材の組合せとして、適切でないものはどれか。

	(作業足場)	(部材)
イ	張出し足場	脚輪(キャスター)
ロ	単管足場	クランプ・ジョイント
ハ	吊り棚足場	安全ネット
ニ	枠組足場	交さ筋かい

［B群（多肢択一法）］

11　仮設工事に関係しないものはどれか。
　イ　仮囲い
　ロ　スランプ
　ハ　仮設通路
　ニ　ベンチマーク(B.M.)

12　次のうち、開閉方法がスライディングに属するものはどれか。
　イ　横軸回転窓
　ロ　突出し窓
　ハ　上げ下げ窓
　ニ　外倒し窓

13　すべり出し窓に使用しないものはどれか。
　イ　ハンドル
　ロ　ピボット
　ハ　アーム
　ニ　突出し棒

14　文中の(　　)内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。
　日本産業規格(JIS)によれば、サッシの耐風圧性において、スライディングは、召合せかまち、突合せかまち、召合せ中骨の変位が各々の部材に平行する方向の内のり寸法の(　　)以下でなければならない。
　イ　1／50
　ロ　1／70
　ハ　1／100
　ニ　1／150

15　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
　日本産業規格(JIS)によれば、サッシにおいて、(　　)とは、戸の内にあってガラスを仕切る部材をいう。
　イ　中骨
　ロ　中桟
　ハ　召合せかまち
　ニ　方立

16　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
　日本産業規格(JIS)によれば、サッシ性能として、開閉繰り返し試験の開閉回数は、(　　)とされている。ただし、掃き出し窓は除く。
　イ　5,000回
　ロ　10,000回
　ハ　50,000回
　ニ　100,000回

［B群（多肢択一法）］

17　アルミニウムの一般的な特質として、適切でないものはどれか。

イ　アルカリに強い。

ロ　磁気を帯びない。

ハ　熱の良導体である。

ニ　銅や鉄などと接触腐食を起こしやすい。

18　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

いくつかの錠を1つのグループとし、その錠の子カギが特定の錠前を施解錠できるシステムを(　　)システムという。

イ　グランドマスターキー

ロ　マスターキー

ハ　逆マスターキー

ニ　単独キー

19　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

鉄骨造とは、鋼板や形鋼を(　　)や溶接などの接合方法によって組み上げた構造である。

イ　ボルト

ロ　接着

ハ　はぜ折り

ニ　ほぞ

20　建築物の各部構造に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　柱は、屋根や床を支える垂直の構造材である。

ロ　梁（はり）は、水平又はそれに近い状態に置かれた、荷重を支える構造材である。

ハ　壁は、建物を水平に区分する面積を持つものである。

ニ　屋根は、雨露や直射日光などをしのぐために建築物の上部を覆うものである。

21　建築図面において、各階床仕上げ面の基準線を表すものはどれか。

イ　F.H.

ロ　F.L.

ハ　G.L.

ニ　G.M.K.

［B群（多肢択一法）］

22　文中の(　　)内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

建築図面における断面図とは、一般に、建物を垂直に切断して、その(①)を表し、建物の形状と(②)の状態を示したものである。

	①	②
イ	断面	屋内
ロ	平面	構造
ハ	意匠	外観
ニ	構造	屋外

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図の平面表示記号のうち、引違い戸はどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ

24　特定防火設備の構造として、適切でないものはどれか。

イ　骨組を鉄製とし、両面にそれぞれ厚さ0.5mm以上の鉄板を張った防火戸

ロ　鉄製で鉄板の厚さが1.5mm以上の防火戸

ハ　鉄骨コンクリート製又は鉄筋コンクリート製で厚さが3.5cm以上の戸

ニ　鉄及び網入りガラスで造られたもの

25　労働安全衛生法関係法令における脚立について、誤っているものはどれか。

イ　脚と水平面との角度を85度以下とすること。

ロ　材料は、著しい損傷、腐食等がないものとすること。

ハ　丈夫な構造とすること。

ニ　踏み面は、作業を安全に行うため必要な面積を有すること。